

高岡市立博物館年報

第 39 号

令和 6 年度

高岡市立博物館

はじめに

高岡市立博物館は、当地の歴史・民俗・伝統産業にかかる資料の収集・保管、展示、また調査研究や教育普及など、さまざまな事業の継続と充実に努めています。令和6年度も多岐にわたる事業を実施しました。

展示事業では、常設展「高岡ものがたり」（通年開催）を開催し、高岡の歴史・民俗・伝統産業の分かりやすい紹介に努め、常設展内のお宝コーナーでは、5回のミニ展示を順次行いました。前年度末から7月上旬にかけて開催した館藏品展「昔の道具とくらし」では、当館が収蔵する古い生活道具類「民具」を展示・紹介しました（特集展示コーナーではホーロー看板を展示）。また、7月末から開始した特別展「開山国師生誕750年記念 國泰寺宝物展」では、高岡市太田にある古刹・國泰寺（臨済宗國泰寺派大本山）の開山国師・慈雲妙意（清泉禪師）生誕750年の節目にあわせて、同寺に伝わる古文書をはじめ、書画、調度品等の資料を展示・紹介しました。11月から開始した企画展「映画ポスター・チラシ展」では、当館収蔵の主に戦前期の映画ポスター・チラシ類（神初家資料）、及び市内映画館関係資料を展示・紹介しました。2月に開始した館藏品展「昔の道具とくらし」では、恒例の民具等を展示しました。併設展示「被災資料レスキュー展」も同時開催しました（次年度7月6日まで開催）。

教育普及事業では、外部講師による郷土学習講座（全3講）や特別展講演会（1回）、伝統産業講習会（1回）のほか、当館職員による古文書講座「初めての古文書教室」（全6講）を開催しました。また「呈茶の会 -博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんか-」（春・秋）、桜の開花時期にあわせた屋上開放イベント「古城公園展望台」、夏休みの自由研究・調べ学習サポート「教えて！学芸員」も行いました。そのほか、講師・委員の派遣協力、出演、監修、制作協力などのほか、高岡テクノドームでの博物館サテライトギャラリーも引き続き実施しました。

資料収集・保存活動では、高岡の歴史・民俗・伝統産業等に関する資料の収集・保存を行い、特に「被災資料レスキュー」活動に努めました。また昨年度から引き続き、高岡市太田の國泰寺より伝近藤勇所用当世具足等の資料の寄託を受けました。

調査研究活動では、日ごろ博物館に寄贈される資料の調査・整理に取り組みました。また昨年度に引き続き、国登録有形文化財「高岡鋳物の製作用具及び製品」の重要指定へ向けた当館収蔵の鋳物資料調査のほか、「産学官連携に基づいた地域資料継承支援事業」による高岡市伏木地区の古文書等歴史資料の調査研究活動も行いました。加えて当館収蔵資料情報のデジタル化を進め、計1,447件の資料情報をインターネット上で公開しました。

地域の歴史と文化の継承という博物館の任務には、決して終わりはありません。それは幅広い方々のご理解、ご協力があつてこそ、初めて可能になります。職員一同、さらに親しまれる博物館を目指して努力を重ねて参ります。日頃からのご協力で厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも当館事業に一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年2月

高岡市立博物館
館長 赤阪 典子

目次	
	I 事業の状況
	1 展示事業
	(1) 常設展「高岡ものがたり－楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアム－」…1
	(2) 館蔵品展「昔の道具とくらし」……………1
	(3) 特別展「開山国師生誕750年記念 國泰寺宝物展」……………1
	(4) 企画展「映画ポスター・チラシ展」……………2
	(5) 館蔵品展「昔の道具とくらし」……………3
	2 教育・普及事業
	(1) 特別展講演会（1回）……………4
	(2) 郷土学習講座（全3講）……………4
	(3) 講座、展示説明会等……………6
	(4) 屋上開放イベント、呈茶の会等……………7
	(5) 刊行物の発行……………7
	(6) 団体見学、展示解説対応……………8
	(7) 他団体への協力……………8
	(8) レファレンス……………14
	(9) インターネット等による広報・普及……………14
	3 収集・保存活動
	(1) 購入資料……………14
	(2) 寄贈資料……………15
	(3) 移管資料……………17
	(4) 保存活動……………17
	4 調査・研究活動……………18
	5 高岡市立博物館に親しむ会との連携……………19
	II 管理運営の状況
	1 職員名簿……………21
	2 歳出予算……………21
	3 高岡市立博物館協議会……………21
	4 高岡市立博物館条例……………22
	5 高岡市立博物館条例施行規則……………23
	6 入館者数……………24
	III 施設の状況
	1 沿革……………25
	2 施設概要……………26
	3 利用案内……………27

I 事業の状況

1 展示事業

(1) 常設展「高岡ものがたりー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」

〔会期〕 令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月) 〔308日間・通年開催〕

〔会場〕 本館第1・2常設展示室、休憩室

〔趣旨・内容〕

高岡の歴史、祭礼などの民俗、銅器・漆器などの伝統産業について、分かりやすい紹介に努めている。「民具コーナー」のほか、「お宝コーナー」では時宜に合わせて展示替えを行うなど、絶え間ない発信に努め、展示の充実を図った。

※高峰譲吉博士別荘「松楓殿」関係資料展示室(新館第3企画展示室)は通年で開催中。

<お宝コーナー>

- ① 「高岡の春」(4月1日～5月12日)
- ② 「博物館所蔵の國泰寺資料」(6月8日～8月12日)
- ③ 「新発見! 最古の高岡御車山絵画資料」(8月24日～10月27日)
- ④ 「原本新発見! 前田利長を見舞う徳川秀忠書状」(11月9日～12月22日)
- ⑤ 「高岡の名木・七本杉」(令和7年1月18日～3月16日)

〔展示資料リスト〕(平成19年度年報に掲載)

(2) 館蔵品展「昔の道具とくらし」

〔会期〕 令和6年4月1日(月)～7月7日(日) 〔85日間〕

〔会場〕 新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

本展では、当館収蔵の古い生活道具類「民具」を展示・紹介した。小学校3年の授業单元にも対応した。特集展示コーナーでは「ホーロー看板」を展示・紹介した(令和6年2月3日より年度をまたいで開催したもの)。

〔ポスター・チラシ画像、展示風景〕(令和5年度年報に掲載)

(3) 特別展「開山国師生誕750年記念 國泰寺宝物展」

〔会期〕 令和6年7月27日(土)～10月6日(日) 〔62日間〕

〔会場〕 新館第1・2企画展示室

〔趣旨・内容〕

高岡市太田にある古刹・國泰寺(臨濟宗國泰寺派大本山)の開山国師・慈雲妙意(清泉禪師)生誕750年の節目にあわせて、同寺に伝わる古文書をはじめ、書画、調度品等の資料を展示・紹介した。

〔印刷物〕

ポスター(B2版、片面4色刷、150枚)、チラシ(A4版、片面4色刷、2,000枚)、パンフレット(A4版、4色刷、総頁数8、1,500部)

〔展示資料〕 計116件154点

〔展示資料リスト〕(当館HPに掲載)



チラシ・ポスター



図録



展示風景

(4) 企画展「映画ポスター・チラシ展」

〔会期〕 令和6年11月23日(土・祝)～令和7年1月13日(月・祝)〔40日間〕

〔会場〕 新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

大正から昭和初期以降、大衆演劇に替わり、映画が娯楽の中心になっていった。高岡でも大正3年(1914)に八千代館(のち世界館)、帝国館が初の常設映画館として開館すると、人気を博した。本展では当館収蔵の主に戦前期の映画ポスター・チラシ類(神初家資料)、及び市内映画館関係資料も併せて展示・紹介した。



チラシ・ポスター



展示風景

(5) 館蔵品展「昔の道具とくらし」

〔会期〕 令和7年2月1日(土)～3月31日(月)〔50日間〕

〔会場〕 新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

本展では、当館収蔵の古い生活道具類「民具」を展示・紹介した。小学校3年の授業単元にも対応。また今回は併設展示「被災資料レスキュー展」も同時開催した（次年度7月6日まで開催）。

〔展示資料〕 計78件143点

〔展示資料リスト〕（当館HPに掲載）



チラシ・ポスター



展示風景



2 教育・普及事業

(1) 特別展講演会 (1回)

特別展「開山国師生誕750年記念 国泰寺宝物展」の開催にあわせて開催した。

演 題 「越中の臨濟禅と国泰寺」
日 時 8月3日(土) 午後2時～3時30分
会 場 新館3階講堂
講 師 松山 充宏 氏 (射水市新湊博物館 学芸係長)
聴講者 54 人



松山充宏氏

要 旨 日本における禅宗の始まりは鎌倉時代であり、臨濟宗では「公案」(禅問答)を考え、曹洞宗では、ただひたすらに無心で座禅を行う「只管打坐」を要とする。

永仁4年(1296)、信濃(現長野県)出身の慈雲妙意(1274～1345)は二上山へ来住した。その翌年、慈雲は弧峰覚明(三光国師)と共に紀伊(現和歌山県)の興国寺を訪れ、心地覚心(法灯国師)のもとで修行した。嘉暦2年(1327)、慈雲は後醍醐天皇から「清泉禅師」の特賜号、翌年には「国泰寺」の勅額も下賜された。それ以降、国泰寺は室町幕府及び朝廷から親近関係を求められ、両者は同寺を保護した。永正16年、越後長尾氏が越中守護代・神保氏の守山城を攻めた際、国泰寺も被災した。天文15年には27世雪庭祝陽が、神保氏の支援で寺の再建・復興に努めた。天正13年(1585)豊臣秀吉の越中攻め以降は、前田家により国泰寺方丈が接収・守山城に移された。宝永5年(1708)には国泰寺は江戸幕府から「法灯派総本山」に認められ、これ以後幕府との繋がりも強くなっていったのである。

ところが明治4年(1872)の「托鉢禁止令」以降、国泰寺の経営は悪化し、諸堂は荒廃した。54世越叟義格は旧幕臣の山岡鉄舟の支援・寄付を受け、寺の復興に尽力、その跡を継いだ55世雪門玄松により諸堂の再建が果たされた。また雪門は近代日本の代表的思想家・西田幾多郎や鈴木大拙、野崎廣義(西田の弟子)にも多大な影響を与えた禅僧として、今も語り継がれている。(文責・宇川)

(2) 郷土学習講座 (全3講)

郷土の歴史・文化など幅広い分野について紹介し、理解を深めていただく連続講座を開催した。

〔第1講〕「歴史地震に学ぶ 一とやまの災害とその教訓ー」

日 時 6月8日(土) 午後2時～3時30分
会 場 新館3階講堂 (以下同)
講 師 高野 靖彦 氏 (富山県立伏木高等学校 校長)
聴講者 34 人



高原靖彦氏

要 旨 富山県における歴史地震の最古は貞観5年(863)の越中越後地震である。天正13年(1586)には天正地震が起こり、木舟城(現高岡市福岡町)でも液状化現象により本丸・外郭全てが埋没し、城主の前田秀継夫妻も圧死するなど大きな被害を受けた。

安政5年(1858)安政飛越地震は、跡津川断層の活動によるものでM7.3～7.6規模の地震であったとされる。富山藩では富山城下をはじめ、沿岸部の四方・西岩瀬、八尾など、各地で被害がみられた。高岡町でも家屋185軒の半壊や瑞龍寺境内の石灯笼倒壊、高岡城跡の石垣崩落などが起こった。昇平堂寿楽斎著『地水見聞録』(富山県立図書館蔵)などからも本地震被害の様子を窺い知ることができる。

安政飛越地震と大洪水が発生した、幕末期加賀藩の財政状況は極めて逼迫していた。常願寺川流域に対する藩の救済策には、地震後の救済として家再建費用や食料の貸付など、洪水後の救済策には仮小屋(御救小屋)の設置、食料(救難御救米)の支給、難洪者・中農層への手当てなど様々な政策が行われている。

以上のことから、加賀藩の災害対応は一貫した負担軽減策を講じ、被災村の人々が最低限の生活を維持するための物的救済(粃・銀)に留まっており、これは近世の公権力の特質と理解できる。藩による物的救済を得て、復旧事業を実質的に推進したのは「十村」をはじめとする中農層以上の存在であり、特に十村は藩上層部に対して救済と復旧事業の経費折衝を繰り返した。そこには被災した地域社会を日常生活へ回帰させねばならないという地域のリーダーとしての責任感と執念が垣間見える。(文責・宇川)

〔第2講〕「前田利長等近世前期加賀藩主家の医療」

日時 9月7日(土) 午後2時～3時30分

講師 池田 仁子氏 (金沢市立玉川図書館近世史料館 文化政策調査員)

聴講者 31人



池田仁子氏

要旨 前田利長を中心とした家祖利家から四代光高までの医療について基礎的考察を行う。史料に関しては出来る限り原本を活用し確認した。

初代利家の時代は生命を維持し生存する気風が希薄な戦国の世であり医療制度也未整備であった。疾病中ながら家康に謁するため大坂より伏見に赴き、また家康から見舞状が複数回送られていることから前田・徳川間が極めて緊張した関係であったことが窺える。

慶長15～逝去の同19年5月20日までの二代利長の病と治療について「加藩国初遺文」8巻、「神尾文書」、聖安寺所蔵文書等の史料より①家康、秀忠等からの見舞状、これらに対する礼状、②幕医の派遣と治療による症状の緩和、また豊臣秀頼差出芳春院宛見舞状、③家中仕置など統治に関する申渡し、④腫物の症状、治療法、藩医談合の記載があり利長は腫物に苦しみ不安の中領国内の仕置(政治)や前田家の安寧を願った様子が窺える。

三代利常病臥の寛永16～逝去の万治元年10月12日まで幕府より幕医が2度、家光からは度重なる見舞いの使者が派遣され、利常は熱病の一種の瘧(現マラリア)が本復したお礼として家光に加賀絹、能登鱈を進上している。また四代光高と正室清泰院の両人が疱瘡を患った際も家光は疱瘡平癒を賀し銀品、御祝儀等を贈っている。

以上のように豊臣・徳川の両家と前田家との強い関係性が史料より窺える。前期前田家の病、治療、医家について新たな史料の発掘を含め政治・医療史との絡みの中で治療、医家の動向に注視し古文書の解説、現代医学の視点から総合的に判断し歴史的史実を明らかにしていくことが今後の課題である。

(文責・坂田)

〔第3講〕「猛将 木曾義仲 ～俱利伽羅峠に想いを馳せて～」

日時 11月30日(土) 午後2時～3時30分

※とやま呉西圏域連携事業としても開催

講師 船見 幸広氏 (小矢部市産業建設部 観光課 課長)

聴講者 31人



船見幸広氏

要旨 木曾義仲(1154～1184)は源義賢の次男であり正式な名前は源義仲であるが、木曾の地で育ったことで木曾義仲の名が定着した。源頼朝・義経とは従兄弟にあたる。

義仲は武蔵国(現埼玉県)にて生まれる。平家追討のため駒王丸(義仲の幼名)が2歳の時、源義賢(父)と源義朝(叔父)とで争い、父義賢が討たれたため駒王丸も殺される所だったが、敵方の武将が2歳の子どもを殺すのは忍びないとの思いから信濃国(現長野県)の木曾へと逃がした。

その後、一族の繁栄のみを追求していた平家への反感が強まり、治承4年(1180)義仲は挙兵する。寿永2年(1183)義仲は5万騎を率いて越中国(現富山県)へ進軍する。一方平家軍は10万騎の大軍で進軍する。高岡市常国に兵士に与える水を必要として地面に弓をあてたとされる弓の清水古戦場があり、源義仲像が設置されている。同市中田には移田八幡宮、同市戸出には駒繫ぎの松にそれぞれ碑として残されている。

俱利伽羅峠に迫った義仲は夜間に山地で部隊を7つに分けて戦うなど奇策を多数用いて勝利、その後源氏一族の中でいち早く入京する。入京後は朝日(旭)将軍と呼ばれるようになり都の治安回復を期待されていたが、皇位継承にも加わったことで後白河法皇との関係も悪化するなど、義仲は周りからの信頼を失う。敵対していた源頼朝は、義経らを京へ進軍させ、義仲は宇治川の戦いで義経に負け、近江国(現滋賀県)にて31歳で討たれた。

木曾義仲は人生の幕を閉じることとなったが、仲間を大切に思いやれる義理人情に厚い人物であったことが数々の逸話からわかる。

(文責・鹿本)

※講師の役職は当時のものです。

(3) 講座、展示説明会等

① 特別展「開山国師生誕750年記念 國泰寺宝物展」展示説明会（全3回）

回	日時	講師	受講人数
第1回	7月27日(土) 午後2時～2時30分	仁ヶ竹主幹	23人
第2回	8月31日(土) 〃	宇川主査学芸員	44人
第3回	9月28日(土) 〃	仁ヶ竹主幹	23人

会場：新館第1・2企画展示室

② 伝統産業講習会（1回）

日時	演題	講師	受講人数
10月12日(土) 午後2時～3時30分	「漆器の塗り工程と取扱い」	齊藤 慎二氏 (伝統工芸士・現代の名工。伝統工芸高岡漆器協同組合副理事長)	11人

会場：新館3階講堂

③ 古文書講座「初めての古文書教室」（全6講）／受講者累計213人

回	日時	講師	受講人数
第1講	9月 5日(木) 午後2時～3時30分	仁ヶ竹主幹	36人
第2講	9月19日(木) 〃		36人
第3講	10月 3日(木) 〃		36人
第4講	10月17日(木) 〃		30人
第5講	11月 7日(木) 〃		38人
第6講	11月21日(木) 〃		37人

会場：新館3階講堂

④ 館蔵品展「昔の道具とくらし」展示説明会（全2回）

回	日時	講師	受講人数
第1回	2月 1日(土) 午後2時～2時30分	宇川主査学芸員	21人
第2回	3月 8日(土) 〃		10人

会場：新館第1企画展示室



伝統産業講習会「漆器の塗り工程と取扱い」



古文書講座「初めての古文書教室」

(4) 屋上開放イベント、呈茶の会等

① 屋上開放「古城公園展望台」(桜の満開時期に合わせて開催)

- ・ 日 時 ①4月5日(金)～4月7日(日) 午後1時～3時
 【臨時開放】②4月13日(土)～4月14日(日) 午前11時～午後3時
- ①親しむ会会員の監視ボランティア協力あり
- ・ 来場者数 計1,002人(5日間計)

② 「呈茶の会-博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんか-」(全2回)

日 時	席 主	参加者
4月6日(土) 午前10時～午後3時	玉木 宗恵 氏(裏千家淡交会 高岡支部参与)ほか社中	233人
10月26日(土) 午前10時～午後3時	西 宗範 氏(裏千家淡交会教授) ほか社中	200人

会場：当館茶室「松聲庵」



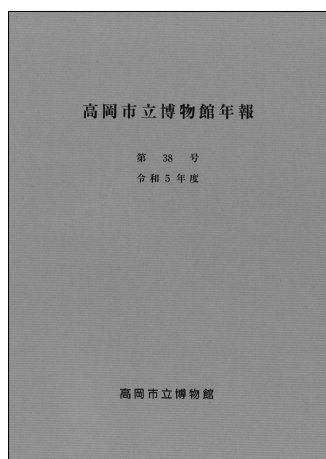
屋上開放「古城公園展望台」



呈茶の会(秋)

(5) 刊行物の発行

- ・ 『特別展「開山国師生誕750年記念 國泰寺宝物展」パンフレット』(A4判、8頁、1,500部)
- ・ 機関誌『博物館だより』第31号(A4判、4頁、3,000部)
- ・ 年 報『高岡市立博物館年報』第38号(令和5年度)(A4判、25頁、200部)



『高岡市立博物館年報』第38号



「博物館だより」第31号

(6) 団体見学、展示解説対応

団体見学 計47件（計991人）、うち展示解説19回

(7) 他団体への協力

① 講師の派遣 計38件（44回）

〔講師派遣一覧〕

月 日	依頼者 会合名	演題・内容	講 師
4月13日	昆布ハウス 昆布アカデミー 講演会	講演「仕切書にみる伏木の北前船交易」	仁ヶ竹主幹
4月24日	高岡商工会議所 高岡法科大学寄付講座「高岡学」第3回講座	講演「前田利長・利常と高岡開町」	仁ヶ竹主幹
4月30日	西島株式会社 紡tsumugu 講演会	講演「高岡御車山と山町筋の歴史」	仁ヶ竹主幹
5月9日	高岡市役所人事課 令和6年度新規採用職員研修 施設見学	講演、当館常設展示解説	仁ヶ竹主幹
5月14日	富山大学芸術文化学部 講義「文化政策概論」	「博物館の設立経緯とその役割」、常設展示解説	仁ヶ竹主幹
5月15日	(一社)富山県住宅地協会の 総会 講演会	講演「林忠正の偉業」	仁ヶ竹主幹
5月30日	富山県生涯学習カレッジ高岡地区センター つながる学びわくわく講座 つながるふるさと学びコース<地区単独型>「新発見!ふるさと人物ものがたり」	講演「藤井能三の功績」	仁ヶ竹主幹
6月14日	高岡市ボランティアガイド 保与の会 研修会 講演会・現地解説	講演「県内唯一日本100名城・高岡城の真価」、高岡城跡現地研修	仁ヶ竹主幹
6月15日	富山新聞文化センター 続・ふるさと探訪シリーズ講座「加賀藩・富山藩を知る」第8回講座	講演「全国一の鋳物の町・高岡金屋町 ～古文書でたどる歴史～」	仁ヶ竹主幹
6月20日	富山県公文書館 令和6年度 富山県公文書館歴史講座	講演「兄宛書簡にみる坪井信良の生涯～高岡町医者の子から将軍の侍医に～」	仁ヶ竹主幹
6月26日	南砺市生涯学習スポーツ課 令和6年度「緑の里講座」	講演「国指定史跡・日本百名城「高岡城跡」の魅力」	仁ヶ竹主幹
7月9日	近世高岡の文化遺産を愛する会 総会 講演会	講演「古文書にみる高岡の歴史」	仁ヶ竹主幹
8月1日、8月23日	(福)富山県社会福祉協議会 令和6年度 富山県いきいき長寿大学 すこやか活動講座(2回)	講演「県内唯一の日本百名城 高岡城跡の真価」	仁ヶ竹主幹
8月4日	歴史資料ネットワーク シンポジウム「2024年能登半島地震・各地からの報告」	講演「高岡市立博物館の文化財レスキュー」	仁ヶ竹主幹
8月24日	高岡市デザイン・工芸センター 第29期 高岡市伝統工芸産業人材養成スクール「高岡鋳物探求 2days」	講演、常設展示解説	仁ヶ竹主幹
9月13日	石川県立生涯学習センター 令和6年度「ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい現地講座」	現地講座「高岡開祖・前田利長ゆかりの地を訪ねる」(常設展示解説、講演、高岡城跡、高岡市内の現地解説)	仁ヶ竹主幹
9月24日	高岡市立平米地域交流センター・高岡市立平米公民館 文化講演会	講演「県内唯一日本100名城・高岡城の真価」	仁ヶ竹主幹
9月25日、9月26日、9月27日	上市町教育委員会 令和6年度 第4回ふるさと町民学園「歴史とものづくりのまち高岡を楽しく歩こう」特別講座(3回)	講演「県内唯一日本百名城：高岡城」(講演、常設展示解説)	仁ヶ竹主幹
9月27日	上二上老人会 展示解説	特別展「開山国師生誕750年記念 國泰寺宝物展」展示解説	仁ヶ竹主幹
10月22日	高岡市食生活改善推進協議会 さわやか研修会	講演「県内唯一の日本百名城・高岡城跡の魅力」	仁ヶ竹主幹
10月25日	高岡地区生涯学習団体協議会 令和6年度県民カレッジ委託講座「高岡地区教養講座」第8回講座	講演「古写真にみる高岡の歴史」	宇川主査学芸員
11月6日	小矢部市教育委員会 文化スポーツ課 とやま呉西圏域連携事業「歴史文化の学び交流事業」(令和6年度 小矢部市生涯学習講座 特別現地研修)	講演「日本百名城・国指定史跡「高岡城」」	仁ヶ竹主幹

月 日	依頼者 会合名	演題・内容	講 師
11月9日	(公財)高岡市民文化振興事業団 令和6年度高岡市生涯学習センター講座	講演「県内唯一の日本百名城・高岡城の魅力」	仁ヶ竹主幹
11月22日	JA高岡西部支店都市部会 研修会	講演「学芸員の仕事と江戸時代の農村古文書」	仁ヶ竹主幹
11月23日	栃木県茂木町教育委員会 企画展「古田土雅堂と高峰博士 松楓殿天井画とアメリカへの道」関連講座	講演「高峰讓吉博士と古田土雅堂」	仁ヶ竹主幹
12月7日	(公財)高岡市民文化振興事業団 令和6年度高岡市生涯学習センター講座	講演「前田利長・利常による近世高岡の町づくり」	宇川主査学芸員
12月8日	射水神社 二上山文化講座	講演「古文書にみる二上山の歴史」	仁ヶ竹主幹
12月28日	(一財)北國新聞文化センター ふるさと探訪シリーズ特別講座「加賀藩と越中の繋がり～歴史・文化・自然～」第6回講座	講演「加賀藩第二の町・高岡を産み育てた利長・利常」	仁ヶ竹主幹
1月17日	高岡市寿大学運営委員会 講演会	講演「高峰讓吉の功績」	仁ヶ竹主幹
1月29日	(特非)大佛三郎 講演会	講演「高岡大仏周辺の歴史話」	仁ヶ竹主幹
1月31日、2月14日、 2月28日、3月14日	高岡市福岡歴史民俗資料館 令和6年度 古文書講座「古文書から地元の歴史を学ぶ」(4回)	古文書講座の講師	仁ヶ竹主幹
2月12日	(一社)富山県住宅地協会 新春講演会	講演「高岡の“育ての親”前田利常」	仁ヶ竹主幹
2月19日	高岡西ロータリークラブ 講演会	講演「高岡城の真価」	仁ヶ竹主幹
3月5日	高岡地区高齢者協議会(高岡市広報発信課) まちづくり出前講座	講演「高岡の歴史を学ぼう ～日本遺産のまち高岡～」	仁ヶ竹主幹
3月19日	富山県立伏木高等学校 ふるさと歴史講座(授業「歴史総合」特別講座)	講演「高岡の歴史」	仁ヶ竹主幹
3月20日	(宗)大法寺 講演会	講演「高岡ができるまで」	仁ヶ竹主幹
3月20日	高岡古城ライオンズクラブ 発足60周年記念式典 記念講演会	講演「公園指定150年を迎えた高岡古城公園の歩み」	仁ヶ竹主幹
3月22日	まちの駅たかおか龍の門 講演会	講演「高岡ものがたり 原始・古代から現代までの高岡」	仁ヶ竹主幹

② 委員の派遣 計7件

③ 出演 計10件(25回)

④ 寄稿 計5件(29回)

⑤ 監修・制作協力 計8件

⑥ 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」生徒の受け入れ

・日 程 7月9日(火)～12日(金)〔4日間〕

・実習生 3人(高岡市立牧野中学校)

・内 容 実習(資料調査・整理、資料のクリーニング作業、受付業務など)

⑦ 小中学生向けの自由研究、調べ学習をサポート「教えて!学芸員」の実施(夏休み期間)

・日 程 8月1日(木)～31日(土)

・参加者 4人(高岡市立木津小学校1年生、同市立高陵小学校3年生ほか)

・内 容 高岡古城公園梅林付近の犬伴家持歌碑について、博物館学芸員の仕事について、高岡の歴史についてなどの質問に学芸員が回答

⑧ 博物館実習生の受け入れ

- ・日程 8月6日(火)～10日(土)〔5日間〕
- ・実習生 3人(金沢学院大学・女子美術大学・同志社女子大学)
- ・内容 実習(古文書の撮影、資料調査・整理、資料台帳の作成、受付業務など)

⑨ 資料貸出 計7件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	帳場格子、大福帳等	3点	土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会	於・高岡市土蔵造りのまち資料館【継続貸与】
2	獅子頭(内免神明町獅子舞保存会寄贈)	1点	内免神明町自治会	内免神明町公民館に常設展示【永年貸与】
3	北前船関係資料	12件23点	伏木観光推進センター	於・高岡市伏木北前船資料館【継続貸与】
4	パリ万国博覧会パンフレット	1点	高岡市美術館	開館30周年記念企画展「ロートレックとベル・エポック PARIS—1900年」(R6.7/20～9/16)
5	ホーロー看板「タカチアスターゼ」、タカチアスターゼ、塩化アドレナリン注射液	3点	栃木県茂木町教育委員会	令和6年度企画展「古田土雅堂と高峰博士 松楓殿天井画とアメリカへの道」(R6.10/5～12/15)
6	『エノホン』(文部省発行)	1点	高岡市美術館	昭和100年記念「あの頃みんな子どもだった—タイムトラベル! 博労小120年の図画教育—」(R7.4/5～5/11)
7	内免神明町獅子舞保存会寄贈の獅子頭	1点	内免神明町自治会	内免神明町自治会員、獅子舞保存会による鑑賞

⑩ 写真提供 計47件 ※ほか国立国会図書館「ジャパンサーチ」からの写真提供10件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	頼鴨涯筆「高岡寓中遊古城」	1点	石川吟詠会	石川吟詠会 師範研修会(R6.6/8)
2	絵葉書「陸軍特別大演習記念」	1件4点	富山県公文書館	令和6年度企画展「富山大正ストーリー～15年間ヲ思フ～」(R6.10/3～11/4)
3	「鴨島町大旗」(1998年)等	8点	高岡ケーブルネットワーク(株)	生中継「令和6年度 高岡御車山祭」(R6.5/1放送)
4	建設当時の高岡共立銀行(1914年)	1点	(株)北日本新聞社	北日本新聞紙面「ぶんぶんジュニアプラス」連載「とやまの近代と歴史遺産」、webunプラスでの公開
5	高岡市三百年祭での山町筋絵葉書、『富山県写真帖』の内「高岡御車山祭」・「関野神社」	3点	(株)アキデザイン	高岡信用金庫100周年記念誌(R6.6月発行)
6	藤井能三肖像(個人蔵)	1点	南砺市立福光美術館	書籍『至高の花鳥画をもとめて 評伝石崎光瑠』(R6.7/13発行)
7	伏木港(1918～32年)等	3点	富山テレビ放送(株)	番組「ダイブツのイマダ!」(R6.6/29放送)
8	「神聖社御由緒」(1880年。1910年改訂。荒木家文書No.139)	1件3点	高岡ケーブルネットワーク(株)	番組「歴史都市 高岡ふしぎ帖」シーズン27「好き好きお地蔵さん編」(R6.6/3～7/28放送)
9	常設展、館藏品展「昔の道具とくらし」展示風景	3点	(株)Parasol	ウェブサイト マッチングアプリ「おむすびさん」(R6.7月公開)
10	堀田家文書⑨No.69「堀田家の昔話」(1965年)	1点	個人	『堀田善衛研究論集 世界を見据えた文学と思想』(R6.6/15発行)
11	絵葉書「高岡古城公園 中之島ノ春色」	1点	(株)北日本新聞社	北日本新聞紙面「ぶんぶんジュニアプラス」連載「とやまの近代と歴史遺産」、webunプラスでの公開(R6.6/12公開)
12	シカゴ万博出品写真(1893年。大橋家資料)	1点	国立工芸館	宗桂会だより「Decoration」第48号(R6.7月発行)
13	本願寺13世良如勝興寺の儀に付書状(年未詳9月24日付)	1点	慶應義塾大学文学部	調査研究
14	前田利長画像(高岡市金屋町本)	1点	石川県能美市教育委員会	『能美市史 図説編』(R7.3/31発行)
15	絵葉書「高岡名勝八丁道」(1933～44年頃発行)	1点	高岡市立下関小学校PTA	高岡市立下関小学校創立150周年事業親子活動「親子でお笑いを楽しもう」のクイズコーナー(R6.7/6開催)
16	出征列車歓送の女学生	1点	パブリックアーツ	個人製作の映像
17	吠	1点	(株)ROFL	BS12『鶴瓶ちゃんとサワコちゃん』(R6.7/29放送、8/5再放送、TVVer配信)

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
18	堀田家文書⑨No69「堀田家の昔話」(1965年)	1点	個人	調査研究
19	前田利長画像(高岡市金屋町本)	1点	石川県能美市教育委員会	『能美市史 図説編』(R7.3/31発行)
20	年未詳5月30日付前田利長書状(中少他一名宛)	1点	(株)ディレクターズライン	富山テレビ放送(株)富山県広報番組「発見! とやまふぁみりー」高岡銅器の巻(前編)(R6.9/15放送)
21	絵葉書「高岡桜馬場公園入口」	1点	富山新聞社	富山新聞「ふるさと探訪」掲載(R6.9/7掲載)
22	紙本着色高岡御車山祭礼行列絵巻屏風	1点	個人	調査研究
23	絹本着色開山国師頂相等	20件	高岡ケーブルネットワーク(株)	番組『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン28「国泰寺を知ろう編」(R6.10/7～12/1放送)
24	砧	2点	テレビ朝日	ニュース番組「グッド! モーニング」内の企画「グッド! いちおし」(R6.10/8放送)
25	高峰讓吉夫婦と子どもたち(高峰讓吉博士顕彰会蔵・当館寄託)	1点	毎日新聞出版	『月刊Newsがわかる特別編「高峰讓吉がわかる」』(毎日ムック、R6.11月発行)
26	絵葉書「(高岡名勝)高岡市々街ノ景」(1907～18年)	1点	個人	『オペレーター千夜一夜 無線通信士・岡田定幸の物語』(R6.11/14発行。自費出版。非売品)
27	坂下町「大神楽山車」(部分)	1点	射水市新湊博物館	富山県神社庁高岡・新湊支部神社総代会総会講演(R6.10/21、於・放生津八幡宮)
28	高岡市公報(1923年11月号)	1点	富山福祉短期大学	調査研究
29	堀田家文書No.301「履歴書写し」(1910年3月25日)等	3点	個人	調査研究
30	熊谷(大黒)写真館撮影・収集写真のうち「伏木国分 速水鉄工所機雷解体中爆発事故現場」、「伏木上空を飛ぶB29」等	2件9点	個人	調査研究
31	坂下町「大神楽山車」(部分)	1点	射水市新湊博物館	令和6年度高岡地区図書館連絡研修会講演資料(R6.11/7、於・射水市中央図書館)
32	高峰讓吉夫婦と子どもたち(高峰讓吉博士顕彰会蔵・当館寄託)	1点	(株)テレビマンユニオン	NHK Eテレ番組「先人たちの底力 知恵泉」高峰讓吉編(R6.12/24放送)
33	もんべ	1点	明治図書出版(株)	『よくわかる国語の学習』(R7.4/1発行)
34	絵葉書「(越中名勝)伏木港」、絵葉書(伏木港と東岩瀬港)	2点	富山テレビ放送(株)	番組「ダイブツのイマダ!」(R6.12/7放送)
35	絵葉書「高岡古城公園」(遠景に土橋石垣東面)、公園指定請願書(写)等	3件3点	北日本新聞社	北日本新聞紙面「高岡古城公園150年」記事(R7.1/3発行)
36	高岡商売繁昌双六、高岡商店双六等	5点	(株)ROLE	高岡大仏双六作成のための参考資料
37	1900年バリ万博の日本館パビリオン	1点	(株)中央公論新社	『「産業」としての工芸』(R7.3/25発行)
38	「越中国射水郡高岡地図」等	8点	富山テレビ事業(株)	特別番組「遷座150年 神と人が心を通わせる射水神社」(R6.12/31放送)
39	熊谷(大黒)写真館撮影・収集写真のうち「伏木尋常小学校(女子)卒業写真」(1936年)等	19点	伏木校下自治会連絡協議会	新年賀詞交換会での投影、「震災復興祈願 伏木の歴史と震災写真展」での展示(R7.4～5月開催)
40	絵葉書「(越中名勝)伏木港」等	6件7点	(株)ビッグベアーカンパニー	テレビ東京 番組「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ!」(R7.2/21放送(東京))
41	写真「高岡御城景台之絵図」(写)等	6件7点	富山テレビ放送(株)	報道番組「シンそう 富山」(R7.2/2、拡大版R7.2/6放送、YouTubeでの公開)
42	安永の曳山騒動の判決文(坂下町部分。1776年2月付)、『就御車山御書御印等写并古来方由緒書上申帳』等	3件6点	高岡ケーブルネットワーク(株)	番組『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン29「新発見! 御車山絵図編」(R7.2/24～4/13放送)
43	伏木燈台	1点	伏木海上保安部	調査研究、伏木燈台関連記事に掲載
44	一番新町の母衣宿前にて春季例大祭(川巴良諏訪神社)	2件2点	かわら散策会	「恵比須塔」第12号に掲載
45	射水神社感謝状	1点	射水神社	御遷座150年式年大祭「感謝状」として復刻する際の原板として参考、大祭後に発行する記念誌へ当館提供及び復刻の経緯を記載
46	帝国館(1937～38年)、帝国館ニュース(昭和17年1月22日発行)	2件3点	高岡御車山会館	高岡御車山会館企画展「山町探訪-小馬出町編-」(R7.3/26～7/31)
47	高峰讓吉自画像・松楓殿外観	2件2点	(株)アキデザイン	高岡商工ビル1階 高峰讓吉「松楓殿」再現展示音声ガイド

⑪ 資料撮影・掲載 計24件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	藤子・F・不二雄書簡	1点	ネオユートピア	Neo Utopia 会誌 (R6.8 発行)
2	伏木肥料商・牧野貞次郎資料のうち、株券、出資証券等	(50点)	富山テレビ放送(株)	番組「ダイブツのイマダ!」(R6.6/29 放送)
3	陸軍歩兵上等兵・山本武一歓迎幟(高岡市早川・山本家資料)	1点	富山テレビ放送(株)	ニュース番組「ライブBBT」内、終戦の日での番組企画
4	京大式蒸気吸引器、西川式吸引器	2点	日本大学芸術学部大学院	調査研究
5	年末詳5月30日付前田利長書状等	32点	石川県教育委員会文化財課事務局文化財課	石川県発行の近世史料集の編さん
6	特別展「開山国師生誕750年記念 國泰寺宝物展」展示風景	(10点)	高岡ケーブルネットワーク(株)	番組『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン28「國泰寺を知ろう編」(R6.10/7～12/1 放送)
7	高岡市公報(1922～1930年)	1件2点	富山福祉短期大学	論文執筆
8	陸軍輜重兵・松郷宏氏関係資料	22件35点	昭和史セミナー(富山県東部の郷土史愛好者団体)	調査研究
9	伏木銀行設立等につき書翰(堀田家文書)等	8点	個人	調査研究
10	熊谷(大黒)写真館撮影・収集写真		個人	調査研究
11	大日本職業別明細図之内「富山県」(高岡市及び周辺地図・1925年)	1点	個人	調査研究
12	熊谷(大黒)写真館撮影・収集写真のうち、速水鉄工所機雷解体中爆発事故現場写真等	2件9点	個人	調査研究
13	熊谷(大黒)写真館撮影・収集写真		伏木校下自治会連絡協議会	「震災復興祈願 伏木の歴史と震災写真展」開催にかかる調査研究(令和7.4～5月開催)
14	飯田家文書、塚本家文書		個人	調査研究
15	熊谷(大黒)写真館撮影・収集写真		NHK富山放送局	番組「ニュース富山人」放送のための事前取材
16	熊谷(大黒)写真館撮影・収集写真		個人	調査研究
17	高岡市公報(1922～1930年)	1件2点	富山福祉短期大学	論文執筆
18	八坂家文書「宮袋村御高歩数並合米圖石高仕上根帳」等	7点	高岡法科大学	調査研究
19	紙本著色高岡御車山祭行列絵巻屏風	1点	高岡ケーブルネットワーク(株)	番組『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン29「新発見! 御車山絵図編」(R7.2/24～4/20 放送)
20	船筆筒、帳場筆筒、年末詳5月1日付徳川秀忠書状(前田利長宛)	3点	(株)ビッグベアアーカンパニー	テレビ東京 番組「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ!」(R7.2/21 放送(東京))
21	戸出野神社の算額	1点	早稲田大学高等研究所	全国の算額デジタルアーカイブ作成
22	高野家文書『土地台帳/古国府町』等	2点	個人	調査研究
23	森田柿園編『越中志徴』(稿本)	1件22点	個人	調査研究
24	俳誌『新俳句』	1点	木下家	調査研究

⑫ その他の協力

- ・(公財)日本城郭協会「日本100名城スタンプラリー」(平成19年6月2日～)
- ・(公財)日本城郭協会「日本100名城 城カード」の設置・販売協力(令和6年1月24日～)
- ・高岡テクノドームへの博物館サテライトギャラリーの実施(平成30年10月1日～)
- ・とやま呉西圏域連携事業 歴史文化の学び交流事業「交流講座」への講師派遣協力(令和3年10月より継続)
- ・高岡市景観みどり課「歴まちカード」(高岡市)設置・配布協力(10月27日～)
- ・国文学研究資料館 令和7年度アーカイブズ・カレッジ短期コース(令和7年11月10日～15日) 高岡開催協力
- ・高岡市教委文化財保護活用課 たかおか再発見プログラム『たかおか解体新書』たかおかのづくり I 鋳物編スタンプラリー 参加者数36人
- ・高岡市教委文化財保護活用課 たかおか再発見プログラム『たかおか解体新書』たかおかの

づくりⅡ漆器・菅笠編スタンプラリー 内容監修

- ・ホテルニューオータニ高岡 国宝瑞龍寺・日本料理都万麻とのコラボメニュー「瑞龍寺御膳」おしながき（歴史解説文）監修
- ・高岡市広報発信課 高岡市ラジオ広報『PICK UP！たかおか』（株ラジオたかおか）〔館藏品展「昔の道具とくらし」（5月10日放送）、特別展「開山国師生誕750年記念 國泰寺宝物展」（8月2日放送）、企画展「映画ポスター・チラシ展」（12月6日放送）〕展示紹介・出演
- ・呉西地域コンテンツツーリズム協議会（市総合交通課）「大室家@高岡」お買い物キャンペーン開催にともなうキャラクターカードの配布協力（令和6年3月16日～5月6日／利用者数268人）
- ・高岡市長寿福祉課 市民健康管理「TAKAOKAアプリ」導入に伴うQRコードの設置・協力（6月1日～）
- ・高岡商工会議所青年部 高岡古城公園魅力発見事業 歴史謎解きゲーム『前田利長が残した古城の謎を解け！』クイズ作成にかかる監修・協力
- ・富山県映像センター 『昆布ロードと富山』映像制作にかかる監修・協力
- ・高岡ケーブルネットワーク(株)番組『歴史都市 高岡ふしぎ帖』〔シーズン27「好き好きお地蔵さん編」（第1・3話／6月3日～7月14日放送）、シーズン28「國泰寺を知ろう編」（第1～4話／10月7日～12月8日放送）、シーズン29「新発見！御車山絵図編」（令和7年2月24日～4月20日）〕資料提供・出演
- ・富山テレビ放送(株) 県民参加型エンターテインメント番組『ダイブツのイマダ！』伏木・牧野家資料の解説・出演（6月29日放送）、高岡大仏の解説・出演（9月28日放送）
- ・高岡市広報発信課 高岡市行政情報番組『もっと！ホット！高岡』（高岡ケーブルネットワーク(株)製作）〔特別展「開山国師生誕750年記念 國泰寺宝物展」（9月2日～8日放送）、企画展「映画ポスター・チラシ展」（12月9日～15日）、館藏品展「昔の道具とくらし」（令和7年3月3日～9日放送）〕展示紹介
- ・北日本放送(株)（テレビ）『このまちと生きる～文化創造都市高岡～』特別展「開山国師生誕750年記念 國泰寺宝物展」展示紹介及び國泰寺の解説・出演（9月3日放送）
- ・栃木県茂木町教育委員会 令和6年度企画展「古田土雅堂と高峰博士 松楓殿天井画とアメリカへの道」（会期：10月5日～12月15日／於・ふみの森もてぎ）開催にかかる資料提供、企画展講演会への出講
- ・FMとやま 番組『STEP！』内、当館常設展・企画展の取材協力（12月13日放送）
- ・高岡ケーブルネットワーク番組『Do you know エネル原人？』（伏木東一宮在住・水越忠夫氏を紹介）電話出演（12月17日放送）
- ・富山テレビ放送 特別番組『遷座150年 神と人が心を通わせる射水神社』監修・出演（12月31日放送）、BBT報道『シンそう富山』（いま改めて見直す古城公園の価値）監修・出演（令和7年2月2日、6日放送）
- ・NHK富山放送局 番組『ニュース富山人』内、「被災写真館の貴重な写真をカラー化」（被災資料レスキューにより当館に寄贈された伏木の写真について）解説（令和7年1月31日、同年2月28日）
- ・テレビ東京 番組『所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ！』（当館収蔵資料「船筆筒」等の鍵開け）取材協力・出演〔令和7年2月21日（東京）放送〕
- ・高岡市海ノ民話のまち実行委員会（富山テレビ高岡支社）海ノ民話アニメーション「与茂九郎池」制作にかかる監修・協力
- ・富山シティFM 番組『ものしり富山学』（当館常設展、館藏品展等の展示紹介）番組出演（令和7年2月24日～28日／5回）

(8) レファレンス

高岡の歴史・文化などに関する照会・回答 97件

(9) インターネット等による広報・普及

- ・ホームページ 年間総アクセス数 313,057件
- ・全国の博物館・美術館収蔵資料データベース「文化遺産オンライン」(文化庁運営)への資料情報公開件数 計1,447件
- ・発行済の館報「博物館だより」(31件)、展示解説「博物館ノート」(10件)の公開
- ・X(旧ツイッター)(累計ポスト13,378回、フォロワー1,902人)による広報
- ・フェイスブック(累計投稿4,448回、フォロワー2,448人)による広報
- ・当館関連記事掲載 計167件
- ・当館案内リーフレット〔①日本語版 ②英語版 ③中国語(簡体字)版〕の館内配架及びネット公開
- ・当館収蔵展示資料の撮影、ネットへの公開を個人利用に限り許可(平成29年2月4日～)
- ・当館が所蔵(保管)する一括資料目録のネット公開(令和元年11月～)

3 収集・保存活動

(1) 購入資料(計16件21点。受入順)

No.	資料名称	数量	分類
1	堀川敬周筆《紙本墨画七福神図》(江戸後期)	1	美術
2	堀川敬周筆《紙本淡彩桜図》(嘉永元年)	1	美術
3	年未詳12月26日付本願寺光撰書状(前田治修宛)	1	歴史
4	『Histoire de l'Art du Japon』(日本美術史)(序文:林忠正、編:1900年パリ万国博覧会臨時博覧会事務局/仏文)	1	歴史
5	アルマイト製鍋(立山アルミニウム工業(株)製/未使用)	1	民俗
6	堀川敬周筆《紙本墨画松尾芭蕉図》(江戸後期)	1	美術
7	高田蕙圃筆《紙本彩色韓湘子図》(江戸後期)	1	美術
8	塚原真月女俳句短冊(菊の香に)(昭和25年～平成2年)	1	美術
9	《紙本著色高岡御車山祭礼行列図絵巻屏風》(6曲1隻)	1	歴史
10	絵葉書「皇太子殿下北陸行啓高岡市御座所」(明治42年)	1	歴史
11	「売券証」綴(射水郡横田村 堀 紋蔵)(明治7年1月～同13年1月/26丁)	1	歴史
12	「神社移転関係書類綴」(横田神社)(横田耕地整理事務所/明治37年4月1日/202丁)	1	歴史
13	『高岡市土地台帳』(射水郡横田村 堀 豊)(明治38年/148丁)	1	歴史
14	年未詳2月2日付徳川秀忠書状(前田利長宛)	1	歴史
15	高岡関係絵葉書(復刻版)	5	歴史
16	高岡市横田地区地図(「元市部」、「西」)	2	歴史

(2) 寄贈資料 (計85件約4,090点。受入順。一括資料は仮に100点と計上)

※うち被災資料レスキュー対応件数12件 (未登録3件含む)

No.	R6 被災資料 レスキュー	資料名称	数量	分類	寄贈者
1		戦時中絵葉書(昭和8年前後)	(一括)	歴史	畠 利之氏
2		万葉線開業記念乗車券(平成14年/うち1枚は高岡銅器製)	5	民俗	上坂哲也氏
3		富山人形(天神・雛人形)	(一括)	民俗	匿名希望
4		木彫天神座像(井波)	1	民俗	射水神社社務所
5		紙本彩色束帯天神座像	2	民俗	
6	①	高岡市伏木・粟田家資料(近世～現代)	(一括)	歴史	粟田吉弘氏
7		高岡市湊町・村本与三兵衛家文書(近～現代)	(一括)	歴史	匿名希望
8		高岡合同製麺所 検査合格証(富山県製麺工業組合/昭和16～20年)	21	歴史	粟山輝雄氏
9		包装紙「粟山五色豆」・「フライビズ豆菓子」(高岡市新横町粟山製麺/昭和4～16年)	10	歴史	
10	②	鑄銅文花瓶(支那事变記念品/新横町/高岡銅器/昭和14年)	1	民俗	
11		内免神明社本殿造営記念盃	3	民俗	
12		高岡市立成美小学校体育館落成記念盆(昭和55年6月2日)	1	民俗	
13		射水郡下黒田村 地券(石川県発行/明治12年3月)	90	歴史	中村正憲氏
14		歌人・喜多紅平等宛書簡(昭和初期)	101	歴史	小竹大地氏
15		陸軍歩兵上等兵・山本武一歓迎幟(早川青年会/昭和13年)	1	歴史	山本光雄氏
16	③	高岡市横田地区農地委員会 農地改革記念火鉢(昭和24年)	1	民俗	
17		高岡市早川・山本家資料(軍隊、土地関係など)	31	歴史	
18		弁当箱(重ね)	3	民俗	匿名希望
19		『社寺名勝 写真帳』(昭和9年)	1	歴史	林 修氏
20		吉田二作筆《佐藤一斎『誌後録』五十五》(明治42年)	1	民俗	吉田 泉氏
21		太刀 銘 越州住石塚直長(明応8年2月日) ※高岡市指定文化財	1	美術	黒田賢三氏
22		脇差 銘 越州住石塚直長(文亀元年8月日) ※高岡市指定文化財	1	美術	
23		脇差 銘 宇多勝国(延徳～明応期頃)	1	美術	
24		短刀 生茎無銘	1	美術	
25		刀 大磨上無銘	1	美術	
26		須賀木仙筆《絹本着色不動明王立像》(昭和20年3月)	1	美術	須賀正紀氏
27		富山県越中国射水郡守山町地引絵図(明治18年9月)	1	歴史	守山地区区長
28		浮世絵(加賀藩関係/江戸後～明治10年)	12	美術	佐伯孝夫氏
29		脇差 銘 越中守高平三男兼若造(江戸前期)	1	美術	紺谷悦朗氏
30		鑄銅柄鏡	1	民俗	匿名希望
31		写真アルバム(高岡市学校関係)	1	歴史	木田祥三郎氏
32		磬子(元治元年/富山・楽田寺什物/高岡米屋万四郎寄進)	1	民俗	
33		須賀木仙作《大黒天座像》(昭和27年)	1	美術	
34		須賀木仙作《米森茂首像》(昭和28年)	1	美術	
35		日立自動トースター「TA-644M」(昭和40年代カ)	1	民俗	匿名希望
36		東芝電気ポット「PLA-511」(昭和期)	1	民俗	
37		東芝電気コンロ「HP-305」(昭和期)	1	民俗	
38		東京電気商事㈱〔①ホープニッケルランプ(A型2号・大型)、②ホープランプ(大型)〕	5	民俗	
39		ホーロー看板(マツダ乾電池・ライオン歯磨・正胡麻油・理研ランプ)	4	民俗	
40	④	帆船太陽丸(船長・田子竹次郎)関係資料	25	歴史	田子竹雄氏
41		シンガー足踏みミシン(製造年:1908年初頭)	1	民俗	中島正義氏
42		正村陶所筆《紙本墨画淡彩七本杉図写》(槐処賛)(大正～昭和期)	1	美術	匿名希望
43		中島秋圃筆《紙本墨画七本杉図》(大橋二水賛)(昭和2年11月)	1	美術	
44	⑤	伏木肥料商・牧野貞次郎関係資料	330	歴史	牧野 明氏
45		大札の儀に際し地方警備尽瘁に付感謝状(昭和3年12月14日)	1	歴史	荒木博昭氏
46		『富山県伏木港元家蔵品売立目録』(於・高岡市片原町 超願寺)	1	歴史	

No.	RG 被災資料 レスキュー	資料名称	数量	分類	寄贈者
47		「サンキョーアルミ 家庭日用品商品」リーフレット(昭和43年頃)	1	歴史	高橋 寛氏
48		鉄製灰皿(農協記念品/昭和30～40年代/株四津井製)	1	民俗	(株)四津井
49		真鍮製恐竜置物(福井県立恐竜博物館開館記念品)(平成12年/株四津井製)	1	民俗	
50		西福寺文書(「高岡覚書帳」、「越中高岡御公用記録/伊藤」、「触帳」明治5年4月、「坪数等代価書上帳/千木屋町」、「御書御印之物等写并由緒書上申帳/越前屋甚右衛門」安政2年6月等)	8	歴史	西福寺 (四柳正寛氏)
51		蔵巨水旧蔵資料(俳誌「くらげ」主宰/俳諧関係資料、書画等)	(一括)	美術	大西紀夫氏
52		大野伊吉(「実業之富山」創業者)関係資料(戸出物産(株)写真、2・26事件を父に伝える書簡等/昭和中期～平成期)	(一括)	歴史	匿名希望
53		「高岡市長江・波岡耕地整理仮配当関係」綴(昭和16～同18年)	1	歴史	坂井 理氏
54	⑥	野帳(人別土地書上/昭和30年代頃)	1	歴史	
55		「土地数値の算出公式」、「級別小作料金・該当地番」 ※共に長い継紙	1	歴史	
56		高岡市坂下町・中田忠七商店資料	(一括)	歴史	中田忠七商店
57		時太鼓(射水郡野村) ※皮欠損	1	民俗	坪田孝弘氏
58		「高岡市百姓町式丁目略図」(昭和19年1月/手書き/彩色/作者不明)	1	歴史	千石町2丁目 自治会
59		高岡市五長老筆跡(昭和前期)※荒井建三・木津太郎平・菅野伝右衛門・南慎一郎・四津谷道雲	5	美術	齋藤浩一氏
60		砺波郡三清村十村・武部家文書(近世～近代)	(一括)	歴史	匿名希望
61		前田利長書状 ※上記武部家文書内。砺波郡中田村十村・木沢家文書	10	歴史	匿名希望
62	⑦	勝興寺触頭文書等古文書(江戸後～明治初期)※襖の下貼り文書	約360	歴史	大指哲夫氏
63		尼野和三作《高岡御車山・二番町》(版画)(昭和33年1月/額装)	1	美術	匿名希望
64	⑧	正和勝之助書簡集(大黒幸雄宛)	(一括)	歴史	大黒幸雄氏
65		熊谷(大黒)写真館撮影・収集写真(明治～平成期)	1,629	歴史	
66		「大日本分県地図 富山県」(発行・日本統制地図株/昭和16年) ※20万分の1	1	歴史	石尾純三氏
67		富山産業大博覧会展望見取図(昭和29年)	1	歴史	
68		「富山県射水郡伏木町大字新嶋町ノ内図」(大正元年10月/彩色/調整人・高野源蔵) ※600分の1	1	歴史	若林政之氏
69		皇室関係肖像写真(印刷物) ※新聞の附録など	12	歴史	小川憲治氏
70		高岡第一劇場 上映映画パンフレット(「グランプリ」・「火垂るの墓」)	2	民俗	
71		富山県関係映画パンフレット	4	民俗	
72		『御俗姓』(写)	1	民俗	
73		高岡市旅籠町・多田漆器店関係資料	(一括)	歴史	多田光男氏
74		木津宏潤作《青貝塗 桜に燕文色紙箱》(平成20年頃/特注品)	1	美術	松野きみ子氏
75		高岡市早川耕地整理組合文書(近代)	(一括)	歴史	匿名希望
76		写真「農協高岡病院円形棟竣工記念」(昭和30年/航空写真)	1	歴史	高橋 文氏
77		須賀木仙筆《紙本彩色雑図》(昭和31年)	1	美術	
78		加賀藩試鑄銭(寛永通宝)(江戸末期)	1	歴史	長戸幸一氏
79		増山安太郎氏関係資料(高岡の郷土史家)	(一括)	歴史	増山秋美氏
80		富山県立高岡工芸学校附設臨時工業技術者養成科修了証書(昭和20年)	1	歴史	水越忠夫氏
81		刀 銘 相州住綱廣(山村綱廣作) ※昭和軍刀	1	美術	宮下真知子氏
82		絵葉書「観光の高岡」(昭和期)	8	歴史	晒谷政史氏
83		子供用マント(防寒具/昭和35年頃)	1	民俗	
84		映画チラシ類(高岡・金沢) ※高岡劇場、文化劇場、世界館、日本劇場等	71	民俗	匿名希望
85	⑨	「越中国高岡関野神社祭礼繫昌略図」(色刷)(明治16年) ※御車山のみ	2	歴史	太田幸子氏

(3) 移管資料 (計2件30点。受入順。)

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
1	加越能鉄道加越線廃線記念文鎮(昭和47年)	1	民俗	匿名希望
2	筏井茂之画 原画(「現代っ子に語る高岡童話」)昭和49～同56年 ※ファイル1冊に原画29枚、会報「児童文化」などあり	29	美術	

収蔵資料分類一覧表

資料別大分類			区分	件数	点数
I 歴史資料	1,257件	17,890点	1. 歴史資料	1,257件	17,890点
II 民俗資料	1,190件	8,213点	1. 衣食住	519件	3,954点
			2. 交通 運輸 通信	65件	115点
			3. 民俗芸能 娯楽 遊戯等	231件	2,315点
			4. 人生儀礼	26件	62点
			5. 交易	113件	329点
			6. 民俗知識	156件	898点
			7. 年中行事	28件	446点
			8. 社会生活	33件	60点
			9. 信仰	19件	34点
III 産業資料	486件	8,346点	生産 生業資料	486件	8,346点
IV 美術資料	647件	1,386点	1. 金工	97件	119点
			2. 漆芸	107件	190点
			3. 陶芸	54件	102点
			4. 木竹石工	4件	28点
			5. 染織	5件	5点
			6. 日本画	175件	331点
			7. 洋画・版画	50件	167点
			8. 彫刻	23件	24点
			9. 書	132件	420点
総計	3,580件	35,835点		3,580件	35,835点

※平成29年度受け入れ分より、一括資料を100点として計上。

(令和7年3月末現在)

(4) 保存活動

展示室・収蔵庫等の温湿度管理、裏打・軸装、桐箱作成、中性紙封筒・箱での保存、収蔵庫清掃、害虫侵入対策、二酸化炭素ガスによる資料燻蒸等

4 調査・研究活動

- ・収蔵資料及び未調査資料の調査整理（調査・整理・登録・撮影・データベース化等）
- ・収蔵資料の収集・分類・整理方針にかかる調査研究
- ・今後の企画展（特別展・館蔵品展等）、常設展にかかる調査研究
- ・国登録有形民俗文化財「高岡鋳物の製作道具及び製品」の国指定重要有形民俗文化財指定にかかる当館収蔵鋳物資料の調査
- ・収蔵資料情報のデジタル化による資料管理（デジタル・アーカイブの推進）
- ・「産学官連携に基づいた地域資料継承支援事業」による高岡市伏木地区の古文書等歴史資料の調査研究
- ・その他の調査・研究
- ・各種研究会・研修会、講座等への参加 計13件
 - 〔富山県歴史資料保存利用機関連絡協議会〕令和6年度総会・講演会(5月16日／オンライン受講)
 - 〔日本博物館協会〕令和6年度全国博物館長会議(第31回)(7月3日／東京都)
 - 〔全国歴史民俗系博物館協議会〕令和6年度年次集会(第10回)(7月4日～5日／千葉県)
 - 〔歴史資料ネットワーク〕2024年度総会シンポジウム「2024年能登半島地震・各地からの報告」(8月4日／兵庫県)
 - 〔富山県公文書館〕企画展講演会「転換期の富山県－大正期の産業と人々の暮らしを中心に－」(講師・尾島志保氏)(10月16日／オンライン受講)
 - 〔北前船日本遺産推進協議会〕令和6年度 北前船日本遺産オンラインセミナー 第1回「北前船の寄港地と船主集落」編(10月18日／オンライン受講)
 - 〔日本博物館協会〕「新登録制度の審査・登録に係る意見交換会」(10月23日／オンライン受講)
 - 〔福井県文書館〕令和6年度 資料保存研修会「令和6年能登半島地震と被災資料レスキュー」(11月6日／オンライン受講)
 - 〔合同会社AMANE〕学術イベント「博物館資料3Dデータの生成と共有のこれから」(令和7年2月13日／オンライン受講)
 - 〔日本博物館協会〕「博物館新登録制度：疑問や課題の解決相談会」(令和7年2月18日／オンライン受講)
 - 〔国立歴史民俗博物館・歴史文化資料保全ネットワーク事務局〕「地域歴史文化大学フォーラム－複合災害期における資料保存・継承の展望－」(令和7年3月15日／オンライン受講)
 - 〔日本博物館協会〕令和6年度研究協議会講演会「収蔵庫問題について考える」(講師・多田文夫氏)(令和7年3月21日／オンライン受講)
 - 〔合同会社AMANE〕学術イベント「地域資料を対象とした研究データエコシステムのこれから」(令和7年3月31日／オンライン受講)

5 高岡市立博物館に親しむ会との連携

高岡市立博物館に親しむ会は、博物館の活動を支援するほか、高岡の歴史と文化に親しみ、相互に親睦を図る活動を行うことを目的に平成25年3月6日に設立されたものである。郷土高岡への理解を深め、市民に親しまれる新しい博物館づくりを進めている。

○会員数 254人〔一般234人(237口)、賛助20人(22口)〕

○各部会、役員会の開催

- ・広報部会 6月5日(水)、8月7日(水)、11月13日(水)、令和7年2月12日(水)
- ・ワークショップ部会 令和7年2月19日(水)、令和7年3月7日(金)
- ・研修部会 令和7年2月20日(木)、令和7年3月12日(水)
- ・役員会 11月19日(火)、令和7年1月15日(水)、令和7年3月18日(火)

○事業内容

◇総会 4月18日(木) 午後1時30分～2時

出席者数 36人

◇講演会 同日 午後2時～3時30分

演題「高岡城跡と城下町の魅力について」

講師 田上和彦氏(高岡市教育委員会文化財保護活用課主任)

出席者数 38人

◇呈茶席-博物館で抹茶を楽しみませんか-(全て土曜。全8回/参加者累計250人)

[春] 4月27日 23人、5月18日 50人、5月25日 23人、6月1日 25人

[秋] 9月21日 54人、9月28日 27人、10月5日 30人、10月19日 18人

(時間) 各日午前11時～午後3時

(協力) 西範子氏(同会ワークショップ部会長。裏千家教授)ほか

◇歩く博物館-郷土の歴史・文化を訪ねる-<歩く・走る・座る>(全3回/参加者累計64人)

回	日時	内容	参加人数
1	6月27日(木) 午前9時45分～正午	第1回(通算第40回)歩く博物館「明治の大火をたどる」(説明:フリーアナウンサー・相本芳彦氏)	27人
2	9月10日(火) 午前8時50分～午後3時30分	第2回(41)走る博物館「金沢で高山右近の足跡を探る」(説明:フリーアナウンサー・相本芳彦氏、石川県立美術館・村瀬博春氏)	19人
3	10月18日(金) 午後2時～3時30分	第3回(42)座る博物館「高岡で天神祭の暗号-高岡でキリシタンの痕跡を探る-」(講師:フリーアナウンサー・相本芳彦氏。於・博物館講堂)	18人



呈茶席（春）



歩く博物館「明治の大火をたどる」

◇高岡古文書ボランティア（全12回／参加者累計154人）

（通算99回）4月20日 8人、（100）5月11日 10人、（101）6月15日 13人、（102）7月20日11人、（103）8月17日 15人、（104）9月21日 11人、（105）10月19日 13人、（106）11月16日 10人、（107）12月21日 16人、（108）令和7年1月18日 16人、（109）令和7年2月15日 13人、（110）令和7年3月15日 18人

（時間）各日午後2時～3時30分

◇版画講座－木版画で年賀状を作ろう－（全2回）

日 時	講 師	参加人数
①11月20日（水）、②11月27日（水） 午前10時～正午	水上悦子 氏（木版画講師）	のべ5人



高岡古文書ボランティア



版画講座

〔ボランティア活動協力〕

・博物館事業「屋上開放」、親しむ会事業「歩く博物館」・「呈茶席」等 のべ40人

〔広報誌「鍛冶丸」発行〕

・第18号（A4版、800部）

〔クリアファイル作成〕（A4版、400枚）

・絵葉書「高岡古城公園」（1908～17年頃）

〔ミュージアムショップの運営〕

・オリジナルグッズ（トートバッグ、クリアファイル等）の制作と販売
・ドラえもんグッズ、郷土史関連図書・図録等の販売

〔役員名簿〕 ※令和7年度総会資料参照のこと

II 管理運営の状況

1 職員名簿

職名	氏名	任用
館長	廣瀬 由美子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団嘱託職員(～10月)
館長	安東 浩志	公益財団法人高岡市民文化振興事業団事務局長兼博物館長(11月～令和7年3月)
主幹	仁ヶ竹 亮介	公益財団法人高岡市民文化振興事業団職員
主査学芸員	宇川 恵里	公益財団法人高岡市民文化振興事業団職員
学芸補助	坂田 吏永子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員(4月～)
学芸補助	鹿本 航汰	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員
事務補助	山田 玲子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員
事務補助	二口 恵子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員(4月～9月)
事務補助	林 友美	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員(4月～)

※受付員:山田 早苗、林 洋子、藤巻 千春(～令和7年3月)、大谷 鮎子、荒木 万紀子、奥原 一三(5月～)、北野 晶子(10月～令和7年3月)、二口 恵子(10月～)

2 歳出予算(令和6年度事業別)

(単位:千円)

	事業名	前年度	本年度	差異
管理費	施設管理費	11,766	11,747	▲19
	人件費(事業団職員分のみ)	14,681	15,263	582
	小計	26,447	27,010	563
事業費	調査研究費	353	353	－
	講演講習会費	340	340	－
	資料整備保存費	6,597	6,597	－
	特別展	1,034	1,034	－
	常設展(企画展等含む)	1,427	1,427	－
	小計	9,751	9,751	－
合計		36,198	36,761	563

3 高岡市立博物館協議会

分野	氏名	役職等
学識経験者	晒谷 和子	元高岡市立博物館館長
	日和 祐樹	高岡市文化財審議会会長
	中葉 博文	日本地名研究所理事
学校教育	窪田 俊介	高岡市小学校長会代表(高岡市立木津小学校長)
	寺田 恵	高岡市中学校長会代表(高岡市立福岡中学校長)
	出口 信夫	高岡地区高等学校長会代表(富山県立高岡南高等学校長)
社会教育	嶋村 美和子	高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」副会長
	米澤 陽子	地域女性ネット高岡会長
	坂林 彩未	高岡市PTA連絡協議会副会長
その他	竹中 伸行	伝統工芸高岡銅器振興協同組合理事長
	柴田 治之	伝統工芸高岡漆器協同組合理事長
	本永 武志	高岡商工会議所青年部理事

[敬称略・順不同。任期2年(令和6年2月1日～令和8年1月31日)]

4 高岡市立博物館条例

平成17年11月1日
条例 第206号

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)に基づき、高岡市立博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 高岡市立博物館
位置 高岡市古城1番5号

(事業)

第3条 博物館は、歴史、民俗、産業などに関する資料を収集し、保管し、及び展示して、教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供し、その教養、調査、研究等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究を行うものとする。

(博物館協議会)

第4条 法第20条第1項の規定に基づき、高岡市立博物館協議会を置く。

2 高岡市立博物館協議会は、委員12人以内をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験を有する者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

(指定管理者による管理)

第4条の2 博物館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせる。

(指定管理者が行う業務)

第4条の3 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 事業の実施に関する業務
- (2) 利用の許可に関する業務
- (3) 利用に係る料金の取受及び決定に関する業務
- (4) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、高岡市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認める業務

(開館時間)

第4条の4 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとし、展示室へ入室できる時間は、午後4時30分とする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、教育委員会の承認を得て、これを変更することができる。

(休館日)

第4条の5 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、教育委員会の承認を得て、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日以外の日)
- (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日

(観覧料)

第5条 博物館の展示資料を観覧しようとする者が、博物館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)として納める観覧料は、無料とする。

2 前項の規定にかかわらず、特別展示等を行う場合の観覧料は、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て別に定める。

3 前項の観覧料は、指定管理者に観覧の際、前納しなければならない。

(施設の利用)

第6条 博物館の施設のうち次に掲げるものを利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない

附 則(平成17年12月22日条例第272号)

(施行期日)

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、改正前の高岡市立博物館条例第6条の規定によりなされた許可は、改正後の高岡市立博物館条例第6条の規定によりなされた許可とみなす。

附 則(平成19年3月22日条例第17号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月22日条例第10号)抄

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第1条及び第5条から第12条までの規定は、平成24年4月1日から施行する。

(高岡市立博物館条例の一部改正に伴う経過措置)

5 この条例の施行の際現に第2次一括法による改正前の博物館法(昭和26年法律第285号。以下「旧博物館法」という。)第21条の規定により高岡市教育委員会が任命した高岡市立博物館協議会の委員(以下この項において「旧委員」という。)である者は、施行日に第8条の規定による改正後の高岡市立博物館条例(以下この項において「新条例」という。)第4条第3項の規定により高岡市立博物館協議会の委員として任命されたものとみなす。この場合において、その任命されたものとみなされる委員の任期は、新条例第4条第4項の規定にかかわらず、施行日における旧委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。い。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(1) 企画展示室(展覧会等開催のため第1企画展示室、第2企画展示室及び第3企画展示室を占用して利用する場合に限る。)

(2) 茶室
(利用の制限)

第7条 指定管理者は、前条の規定により利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又は利用を停止することができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (2) その利用が博物館の目的に適しないと認めたとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、博物館の管理上特に必要があると認めるとき。

2 前項の規定による処分をした場合において利用者に損害が生ずることがあっても、指定管理者は、その責めを負わない。

(利用権の譲渡等の禁止)

第8条 利用者は、利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(原状回復の義務)

第9条 利用者は、博物館の施設の利用を終了したときは、直ちに原状に回復しなければならない。第7条第1項の規定により、利用の許可を取り消されたときも、同様とする。

(入館の制限)

第10条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を制限し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけるおそれがあると認められる者
- (2) 展示品又は施設、設備等を損傷するおそれがあると認められる者
- (3) 博物館の管理上必要な指示に従わない者

(施設利用料)

第11条 利用者は、利用料金として別表に掲げる額の範囲内で指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て定める額の施設利用料を納めなければならない。

2 施設利用料は、利用許可の際、納入しなければならない。

(施設利用料の減免)

第12条 指定管理者は、教育委員会規則の定めるところにより、施設利用料を減額し、又は免除することができる。

(施設利用料の不還付)

第13条 既納の施設利用料は、還付しない。ただし、指定管理者は、特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付す

ることができる。

(利用料金の収入)

第14条 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(損害賠償)

第15条 利用者は、建物その他付属設備、器具等を損傷し、又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年11月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)の前日までに、合併前の高岡市立博物館条例(昭和45年高岡市条例第23号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定

によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則(平成26年3月20日条例第52号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表(第11条関係)

名 称	施 設 利 用 料	
企画展示室	1日につき	9,900円
茶 室	1日につき	4,400円

備考

- 1 冷房又は暖房利用料は、施設利用料の2割に相当する額とする。
- 2 利用に際し、入場料又はこれに類するものを徴収する場合は、施設利用料の5割に相当する金額(入場料又はこれに類するものが1,000円以下の場合にあっては、3割に相当する金額)を加算する。
- 3 施設利用料の算定に当たって、10円未満の端数を生じたときは、当該端数は切り捨てるものとする。

5 高岡市立博物館条例施行規則

平成17年11月1日
教育委員会規則第39号

(趣旨)

第1条 この規則は、高岡市立博物館条例(平成17年高岡市条例第206号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(協議会の組織)

第2条 条例第4条に規定する高岡市立博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は、委員の任期による。

3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議の招集)

第3条 会議は、必要に応じ会長が招集する。

(議事)

第4条 協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(利用許可の申請)

第5条 条例第6条の規定により、高岡市立博物館(以下「博物館」という。)の施設の利用許可を受けようとする者は、利用許可申請書を指定管理者に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、利用期日(利用しようとする日が引き続き2日以上であるときは、その初日)の6箇月前から2週間前までの間に提出しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(利用の許可)

第6条 指定管理者は、博物館の施設の利用を許可したときは、利用許可書を交付するものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成17年11月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の高岡市立博物館に関する規則(昭和45年高岡市教育委員会規則第6号)の規定によりなされた手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

附 則(平成17年12月22日教委規則第61号)

(施行期日)

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、改正前の高岡市立博物館条例施行規則の規定によりなされた手続その他の行為は、改正後の高岡市立博物館条例施行規則の規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

(利用許可の取りやめ及び変更)

第7条 利用の許可を受けた者は、利用の取りやめ又は変更について許可を受けようとするときは、利用取りやめ(変更)申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(施設利用料の減免)

第8条 条例第12条の規定により、施設利用料の減免を受けようとする者は、施設利用料減免申請書を指定管理者に提出しなければならない。

2 施設利用料の減免の範囲及び割合は、別表のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めて高岡市教育委員会の承認を得たときは、この限りでない。

3 施設利用料の減免額の算定に当たって、10円未満の端数を生じたときは、これを10円として計算する。

(施設利用料の還付)

第9条 条例第13条ただし書の規定により施設利用料を還付する場合は、次の各号に掲げる区分に応じ当該各号に定めるところによる。

(1) 条例第7条第1項第3号の規定により、指定管理者が利用許可を取り消したとき全額を還付する。

(2) 災害その他不可抗力により利用することができなくなったとき 全額を還付する。

(3) 前2号に掲げるもののほか、指定管理者が還付を必要と認めるとき8割相当額を還付する。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

別表(第8条関係)

企画展示室、講堂及び茶室の施設利用料(冷暖房利用料は除く。)を減免する場合

利用区分	減免率
市又は教育委員会の主催する場合	100%
市又は教育委員会の共催する場合	50%

6 入館者数(「小人」は中学生以下。単位：人)

①常設展「高岡ものがたりー楽しく知ろう!ひらめき・ミュージアムー」

会期：4月1日(月)～令和7年3月31日(月)(開催日数308日間)

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
14,715	1,474	11,601	1,112	28,902

②館蔵品展「昔の道具とくらし」

会期：4月1日(月)～7月7日(日)(開催日数85日間)

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
4,575	429	3,818	344	9,166

③特別展「開山国師生誕750年記念 國泰寺宝物展」

会期：7月27日(土)～10月6日(日)(開催日数62日間)

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
3,689	440	2,679	319	7,127

④企画展「映画ポスター・チラシ展」

会期：11月23日(土・祝)～令和7年1月13日(月・祝)(開催日数40日間)

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
1,354	58	1,006	51	2,469

⑤館蔵品展「昔の道具とくらし」

会期：令和7年2月1日(土)～3月31日(月)(開催日数50日間)

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
1,911	140	1,425	70	3,546

総計(開催延日数545日間)

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
26,244	2,541	20,529	1,896	51,210

過去5年間の入館者数

H31/R1	R2	R3	R4	R5
63,367	33,960	34,708	49,657	53,913

Ⅲ 施設の状況

1 沿革

- 昭和44年（1969） 市制施行80周年・開町360年記念事業として高岡市美術館（昭和26年築）に隣接して建設することを決定。
- 8月 建設設計を完了。
- 10月 建設工事を着工。
- 45年（1970） 3月 建設工事を完了。高岡市立博物館条例を公布。
- 6月 高岡市立博物館に関する規則を公布。
- 開館。
- 8月 高岡市立博物館協議会委員委嘱（12人）。
- 46年（1971） 2月 博物館法（昭和26年法律第285号）第10条の規定に基づく公立博物館として文部省及び富山県教育委員会に登録。
- 10月 淡交会高岡支部より茶室を寄贈される。
- 平成6年（1994） 4月 美術館の移転分離により、旧美術館棟を博物館棟（現本館）として財産登録。
- 高岡市立博物館条例を一部改正。
- 8月 高岡市立博物館整備検討委員会設置（以後平成10年1月まで6回会議）。
- 8年（1996） 4月 財団法人高岡市民文化振興事業団へ管理運営委託。
- 10年（1998） 2月 高岡市立博物館整備検討委員会により「高岡市立博物館整備検討委員会報告書」が高岡市に提出される。
- 10月 本館で常設展「郷土の暮らしと文化」開催。
- 12年（2000） 新館1階収蔵庫改修工事の実施。
- 14年（2002） 7月 ホームページを公開。
- 18年（2006） 4月 財団法人高岡市民文化振興事業団が指定管理者となる。
- 19年（2007） 7月 常設展を「高岡ものがたり」にリニューアル。
- 11月 高岡市立博物館整備構想検討委員会設置（以後平成21年度まで継続）。
- 20年（2008） 11月 常設展リニューアル以後の入館者3万人を達成。
- 22年（2010） 2月 高岡市立博物館整備構想検討委員会より「高岡市立博物館整備構想報告書」が高岡市に提出される。
- 10月 デジタルアーカイブ推進事業を開始（～平成25年3月）。
- 23年（2011） 本館収蔵庫改修工事の実施。
- 10月 『二上射水神社文書目録』を編集。
- 24年（2012） 4月 指定管理者の財団法人高岡市民文化振興事業団が公益財団法人に移行。
- 10月 「収蔵資料検索システム－あなたの家が博物館－」の運用開始。
- 25年（2013） 3月 高岡市立博物館に親しむ会設立。
- 4月 佐渡家資料調査事業を開始。
- 常設展示室に「お宝コーナー」開設。
- 6月 常設展「高岡ものがたり」音声ガイド5台導入。
- 27年（2015） 3月 『佐渡家資料目録』を編集・発行。佐渡家資料調査事業を終了。
- 4月 高岡古文書ボランティア部会（親しむ会）設立。
- 28年（2016） 5月 本館入口付近の壁面等落下のため、本館正面玄関を閉鎖。
- 12月 本館正面玄関修繕工事の実施。
- 29年（2017） 6月 国登録有形文化財「高岡鋳物の製作用具及び製品」の国指定重要指定に向けた当館収蔵鋳物資料の調査開始。
- 9月 本館屋根瓦葺き替え工事の実施。
- 10月 本館天井張り替え工事の実施。
- 30年（2018） 10月 博物館サテライトギャラリーの開設（於・高岡テクノドーム）。
- 31年（2019） 3月 高岡市立博物館に親しむ会が発足5周年を迎える。
- 令和元年（2019） 11月 博物館が所蔵（保管）する一括資料目録のネット公開を開始。
- 2年（2020） 4月 新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館（4/18～5/17）。
- 6月 高岡市立博物館開館50周年を迎える。
- 8月 高岡市立博物館開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」を開催（8/1～10/11）。
- 3年（2021） 8月 新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館（8/18～9/12）。
- 4年（2022） 7月 高峰讓吉別荘「松楓殿」関係資料展示室の開始（新館第3企画展示室にて通年開催）。
- 6年（2024） 3月 高岡市立博物館に親しむ会が発足10周年を迎える。

3 利用案内

- ①開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
②休館日 月曜日（ただし月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌平日が休館）
年末年始（12月29日～1月3日）

③入館料 無料

④施設利用料（税抜）

〔企画展示室〕一日につき	第1企画展示室	3,000円
	第2企画展示室	4,500円
	第3企画展示室	1,500円

〔茶室〕一日につき 4,000円



茶室「松聲庵」

⑤交通

〔新高岡駅より〕・南口バス乗り場（1番または2番）で加越能バス「高岡駅」方面に乗車、「高岡駅南口」バス停下車

・JR城端線で高岡駅へ

〔高岡駅より〕・加越能バス「市民病院・職安前」行き、「大手町」バス停下車、徒歩5分

・徒歩約15分（高岡駅前より北東約1km）

〔自動車〕

・能越自動車道 高岡ICから約20分

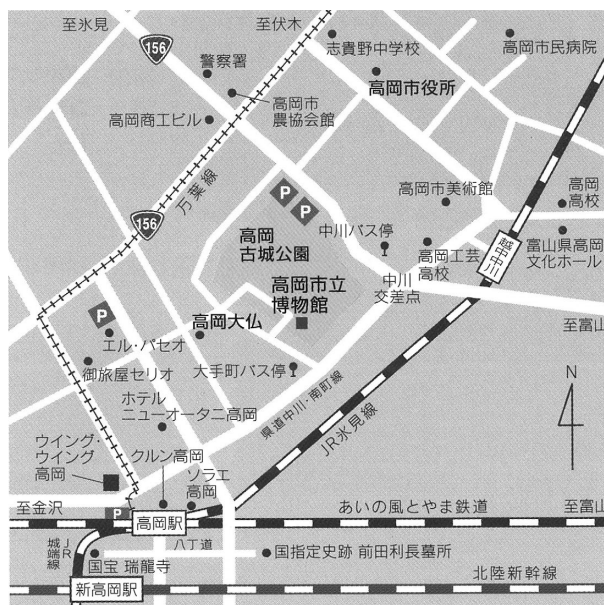
高岡北ICから約25分

・北陸自動車道 高岡砺波スマートICから約15分

小杉ICから約30分

砺波ICから約30分

〔周辺略図〕



高岡市立博物館年報 第39号

令和6年度

発行日	令和8年2月27日
編集・発行	高岡市立博物館 〒933-0044 富山県高岡市古城1-5 TEL : 0766-20-1572 FAX : 0766-20-1570 URL : https://www.e-tmm.info/
印刷	キクラ印刷株式会社